

令和2年度指定研究報告 (中学部)

中学部研修係 金城 裕紀



プログラム

- 1 研究方針
- 2 通知表分析
- 3 授業実践
- 4 教育課程改善へ向けて
- 5 成果と課題



3 授業実践

(1) 目的

主体的・対話的で深い学びにせまるために、
宮特授業改善のポイントを意識した実践を行う



- ①子どもが、目標の意義や学習の計画を理解し、見通しを持っているか（**めあてや学習計画の提示の工夫**）
- ②子どもが考え、判断する場面があるか（**教わる学習と考える学習のバランスや工夫**）
- ③子どもが振り返り（評価）を通して、学びを意識化しているか（**子どもに伝わる評価の工夫**）



3 授業実践

(2) 実施計画

期間	5～8月	9～10月	11～12月
学習グループ	全体	各学習グループ	
教科・領域等	全教科	自由	
研究実践の足跡	<ul style="list-style-type: none"> 実践報告 報告の集計 実践事例の共有 	<ul style="list-style-type: none"> 指導案 個別の評価記録 実践研究の流れ 成果と課題、感想 	<ul style="list-style-type: none"> 指導案（略案） 個別の評価記録 実践研究の流れ 成果と課題、感想



自分ができる台風対策を考えよう (生活単元学習)



単元設定の理由

①考える学習 ← 子どもたちの課題

②生活に活かされる学習 ← 大前提

③学び方を学習 ← キャリア教育

④学びの保障 ← 教育課程改善



各教科との関連


教科	目標
国語	<p>○聞くこと・話すこと 1段階 「ア：身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。イ：話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。オ：相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。」</p>
社会	<p>○地域の安全 2段階 「ア：地域の関係機関や人々は、過去に発生した地域の自然災害や事故に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。イ：過去に発生した地域の自然災害や事故、関係機関の協力などに着目して、危険から人々を守る活動と働きを考え、表現すること。」</p> <p>○産業と生活 2段階 「ア：水道、電気及びガスなどの生活を支える事業は、安全で安定的に供給や処理できるよう実施されていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。」</p> <p>○我が国の地理や歴史 1段階 「イ：都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。」</p>
数学	<p>○データの活用 1段階 「㊦：身の回りにおける数量を簡単な表やグラフに表したり、読み取ったりすること。」</p>
理科	<p>○地球・自然 2段階 「ア：水は、高い場所から低い場所へと流れて集まること。」</p> <p>○物質・エネルギー 1段階 「ア：風の力は、物を動かすことができること。また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わること。」</p>
音楽	
美術	
保健体育	
職業・家庭	<p>○情報機器の活用 1段階 「ア：コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること。イ：コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えること。」</p> <p>○消費生活・環境 1段階 「ア：生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする。」</p>
外国語	



単元目標

- ①自分ができる台風対策を考え、発表することができる。
- ②「情報を得る→考え、表現する→行動する」という学習の流れを理解することができる。
- ③台風の怖さを知り、台風が来た際の自身の行動について考えることができる。（生徒G）
- ④教師とコミュニケーションを取りながら、しっかり目で見えて学習活動に参加することができる。（生徒G）

単元の**観点別目標**

- ① 天気調べ方がわかり、天気を調べることができる。台風
の強さや動き、その被害等について知ることができる。
(**知識・技能**)
- ② 今までの台風の経験や教師の話、調べたことなどを参考に、
自分ができる台風対策を考え、発表することができる。
(**思考力・判断力・表現力**)
- ③ 学習に見通しを持ち、慣れない学習に対しても粘り強く取
り組むことができる。できるようになったこと、またその
要因について自覚することができる。
(**主体的に学習に取り組む態度**) 

単元の観点別目標

- ① 天気調べ方がわかり、天気を調べることができる。台風
の強さや動き、その被害等について知ることができる。
(知識・技能)



動画(NHK for School)



○問題5 もんだい 台風の被害たいふう ひがいについて、()にあてはまる言葉ことばを書きましょう。

① やま山などでは()があります。

② うみ海の近くでは()があります。

③ かわ川の近くでは()があります。

④ みず水の溜まりやすい所ところでは()の被害ひがいがあります。

⑤ もの物が飛ばされるなどの()の被害ひがいがあります。

ワークシート




単元の**観点別目標**

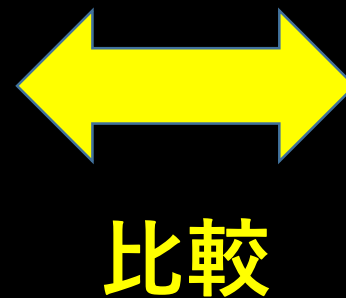
③学習に見通しを持ち、慣れない学習に対しても粘り強く取り組みることができる。できるようになったこと、またその要因について自覚することができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

○問題1 もんだい 台風たいふうが来たら、あなたはどうしますか？き



単元の前半



○問題9 もんだい 台風たいふうが来る前くにどういくう対策たいさくが必要ひつようですか？

単元の後半

学習計画と評価計画

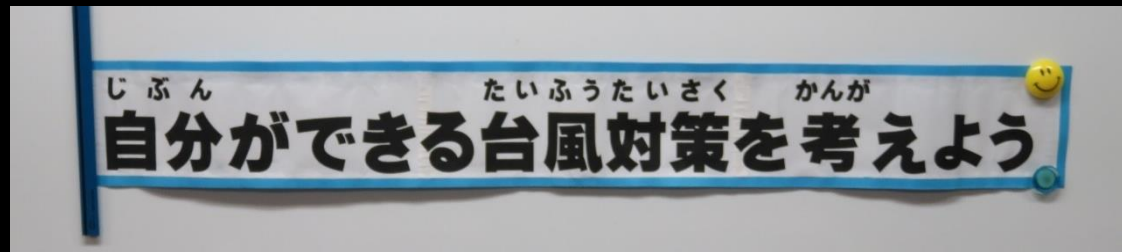
次	時	主な学習活動	評価の観点		
			知・技	思・判・表	主体的
一	四時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天気の間方を学び、天気を調べる。 ・ 台風について調べる。 ・ 台風被害について調べる。 	◎	○	○
二	三時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風対策について考える。 ・ 台風接近時の自分の行動について考え、判断する。 ・ 台風やその対策について調べたことや、自分なりに考えたことを模造紙にまとめる。 	○	◎	○
三	三時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模造紙にまとめた内容と自分のできる台風対策を基に「台風ニュース」を作る。 ・ 単元当初の自分の考えと比較し、新しくわかったことを認識する。 ・ 単元全体の評価を基に、自己変容についての要因を認識する。 	○	○	◎



宮特授業改善のポイント

①子どもが、目標の意義や学習の計画を理解し、見通しを持ってしているか（めあてや学習計画の提示の工夫）

単元の見通しを持たせる



全体目標

がくしゅう けいかく
○学習の計画

	もくひょう 目標	サイン
1	(天気)の調べ方がわかる。	
2	(台風)について知ることができる。	
3	台風(ひがい)について知ることができる。	
4	台風(たいふう)について考え、まとめることができる。	
5	台風(新聞)を作ることができる。	

学習計画

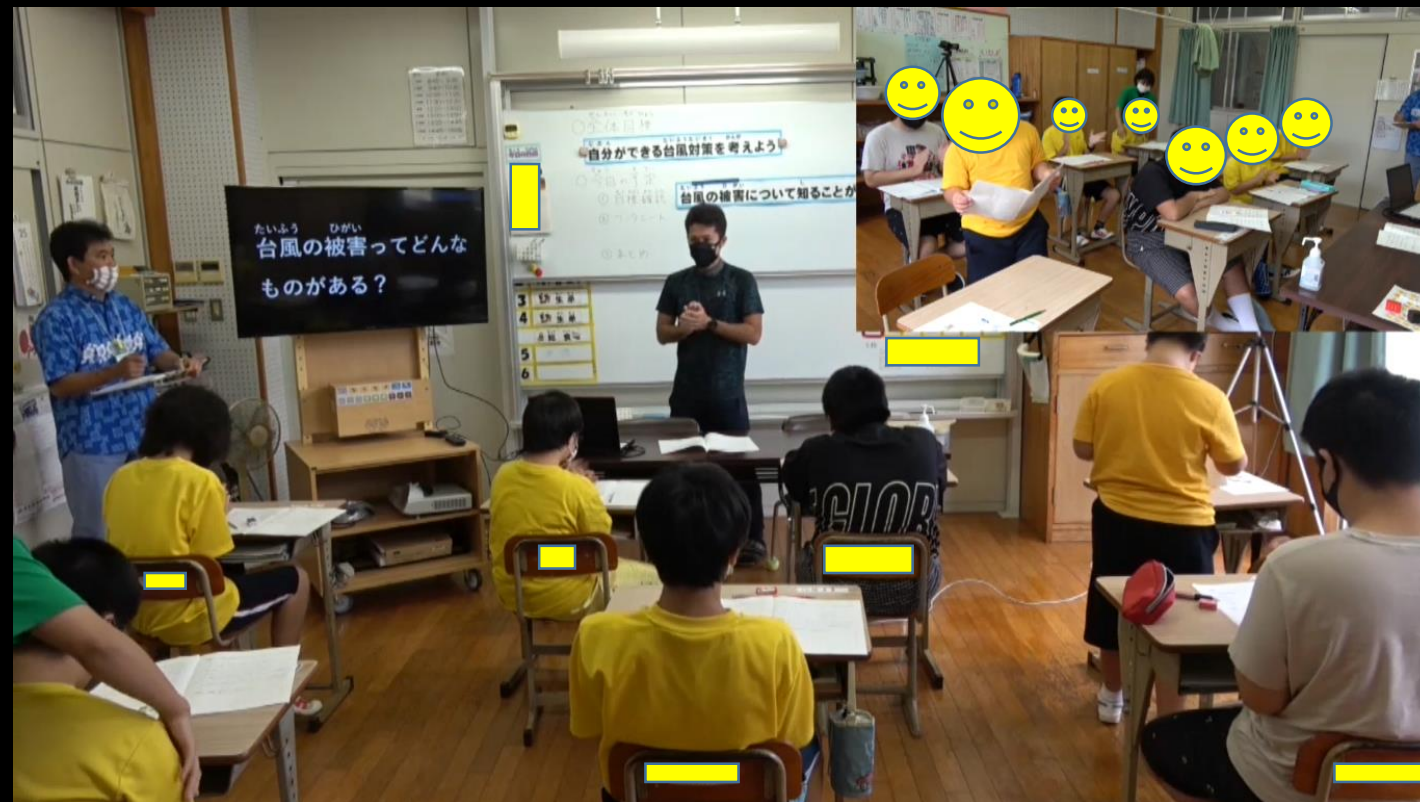


宮特授業改善のポイント

②子どもが考え、判断する場面があるか (教わる学習と考える学習のバランスや工夫)

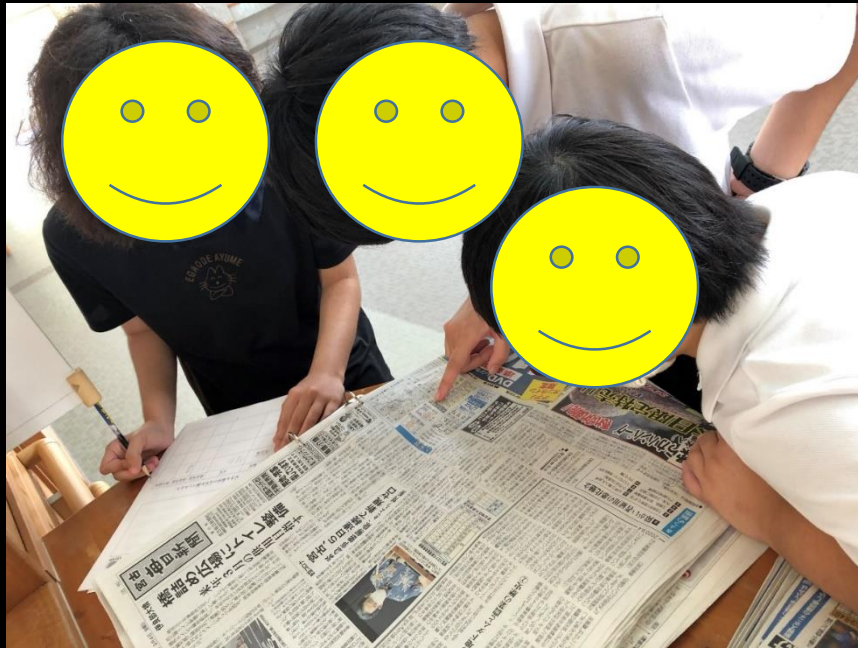
生徒との対話
を重視

発言しやすい
環境づくり



宮特授業改善のポイント

②子どもが考え、判断する場面があるか
(教わる学習と考える学習のバランスや工夫)



グループ活動

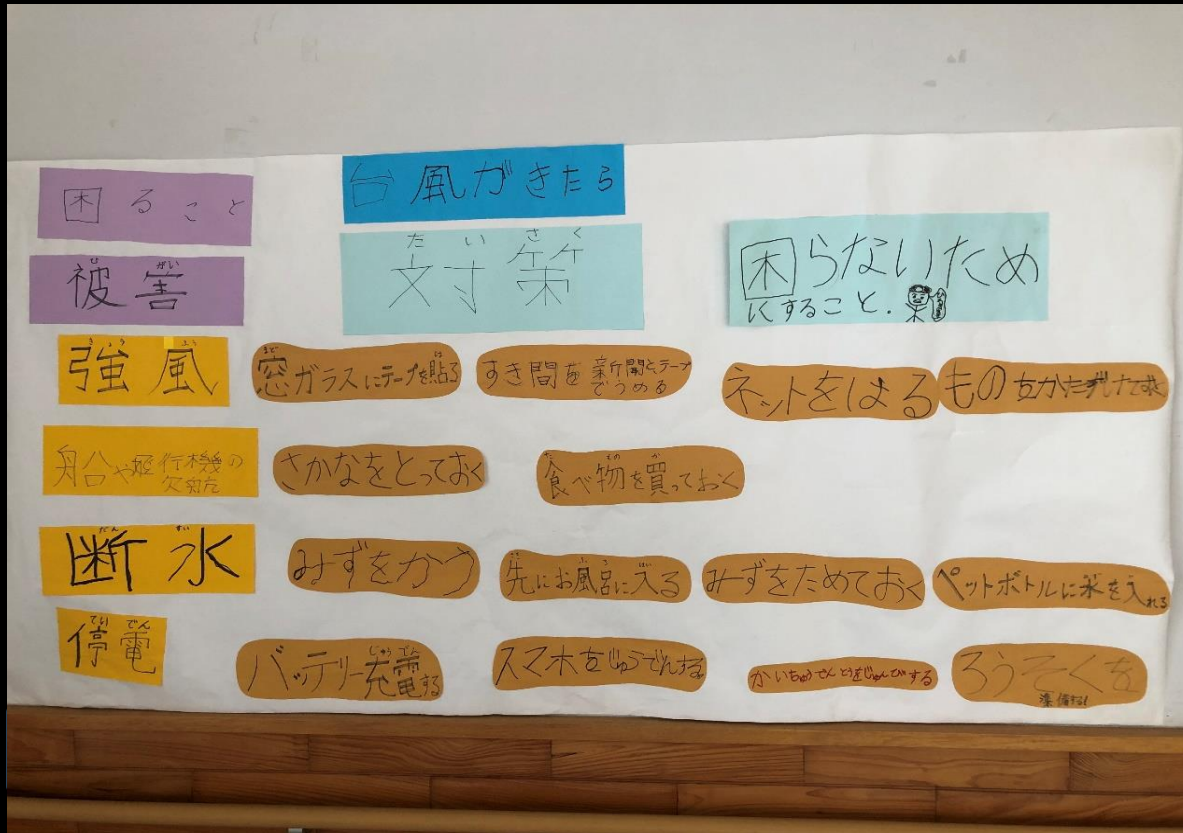
評価のポイント

- ・ 何で調べる？
- ・ どこを調べる？
- ・ 教師に支援を求める？
- ・ グループで協力できている？
(思考力・判断力・表現力)



宮特授業改善のポイント

②子どもが考え、判断する場面があるか (教わる学習と考える学習のバランスや工夫)



評価のポイント

- どのような意見ができる？
 - どのように整理する？
 - 教師に支援を求める？
 - グループで協力できている？
- (思考力・判断力・表現力)

②子どもが考え、判断する場面があるか（教わる学習と考える学習のバランスや工夫）

○問題5 台風の被害について、()にあてはまる言葉を書きましょう。+

①山などでは()があります。+

②海の近くでは()があります。+

③川の近くでは()があります。+

④水の溜まりやすい所では()の被害があります。+

⑤物が飛ばされるなどの()の被害があります。+

○問題6 停電で困ることは何ですか?+

○問題5 台風の被害について、()にあてはまる言葉を書きましょう。+

①山などでは(どしゃくずれ)があります。+

②海の近くでは(たかしお)があります。+

③川の近くでは(こうずい)があります。+

④水の溜まりやすい所では(すいぼつ)の被害があります。+

⑤物が飛ばされるなどの(きょうふう)の被害があります。+

○問題6 停電で困ることは何ですか?+

貼り付け用イラスト



③子どもが振り返り（評価）を通して、学びを意識化しているか（子どもに伝わる評価の工夫）

日付け	目標	できたこと（わかったこと）	できなかったこと（わからなかったこと）	サイン
9/9	台風の影響について知る ことが出来る。	台風がくると 水もでないし 電気もつかないから 台風がこないで ほしいです。	ない	
9/16	台風対策について考える まとめることが出来る	台風がくると被害 がでるから、 台風対策をする。 物を家の中に いれるとか自分で かきいえることができた	がソリンを いれたらちよとわおもく なる。それが わかれば。	

振り返りシート

評価のポイント

- 自分の考えが書けている？
 - できたことは？
 - できなかったことは？
- （主体的に学習に取り組む態度）

③子どもが振り返り（評価）を通して、学びを意識化しているか（子どもに伝わる評価の工夫）

単元の始めと終わりで自身の考えの比較

もんだい
○問題1 台風が来たら、あなたはどうしますか？

家で、すごす。

評価のポイント

- ・ どう変わった？
- ・ その理由は？
(主体的に学習に取り組む態度)

もんだい
○問題10 あなたができる台風対策は何ですか？

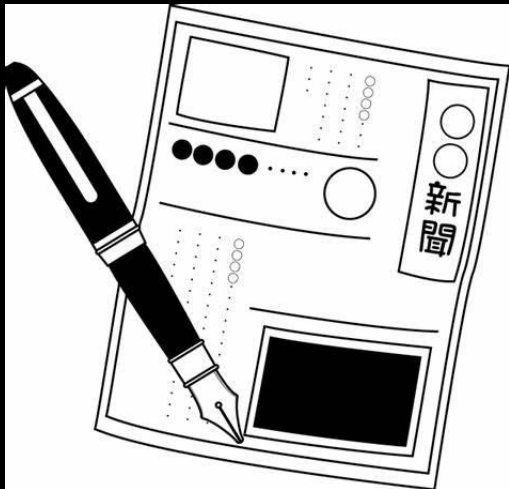
まどに、テープをはる。
水もためておく。
バッテリーを、じゃうでんする。
たべものをかておく。
タトに、あるものを、中に出しておく。
まどの下に、しんがとで、テープをはる。
かいちゆうでどうも、台風が、来るまえに、いんび
しておく。さむいにおふろにはいる。
おみせのタトの、さかの上に、おみをはっておく。



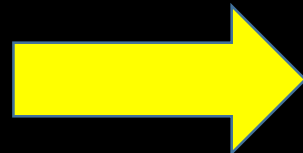
主体的・対話的で深い学び

自分がしたい活動を考える

自分ができる台風対策を考える



変更



ニュースが
作りたい

- ニュースを作るなら
- ・アナウンサーは誰？
 - ・レポーターは誰？
 - ・誰がどの動画に出る？



学習の成果と課題（対象生徒 生徒A）

成果

「台風が来たらどうする？」の問いに対し、「家ですごす。」のみ回答していたが、単元終盤では「まどにテープをはる」など、他8種類の対策を記述することができていた。

課題

振り返りシートに「できたこと」の記述は毎回あるが、「できなかったこと」の記述はなかなか書けていなかった。振り返りの書き方の指導を丁寧に進めていく必要があると感じた。



単元の成果と課題

成果

単元を終了して約1ヶ月後に学級で行っていた地震・津波避難訓練の事前学習中に「高潮」という発言が生徒からあった。**単元で学んだことが身についている様子が見られた。**

課題

今年は10月以降台風が来ていないため、主体的に対策に取り組めるのか観察する機会が無かった。**もっと早い時期に単元を設定した方が良かった。**



ご清聴ありがとうございました。

